

# 非常持ち出し品リスト

<input type="checkbox"/> ティッシュペーパー <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ポンチョ <input type="checkbox"/> 携帯電話の充電器 <input type="checkbox"/> 印かん <input type="checkbox"/> 止血するもの <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> ライター <input type="checkbox"/> ナイフ <input type="checkbox"/> 下着 <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> 充電式ラジオ <input type="checkbox"/> 食料 <input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> ヘルメット <input type="checkbox"/> 乾電池 <input type="checkbox"/> 健康保険証コピー <input type="checkbox"/> メガネ、コンタクト用品 <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 現金 など (停電時に公衆電話で使用する 10 円、100 円硬貨含む)	<b>感染症対策</b>
	<input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> アルコール消毒液 <input type="checkbox"/> ハンドソープ・固形せっけん <input type="checkbox"/> 除菌シート <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> 上履き (スリッパ、靴下など) <input type="checkbox"/> ごみ袋 など
	<b>乳幼児</b>
	<input type="checkbox"/> 離乳食、粉ミルク・液体ミルク <input type="checkbox"/> 加熱調理器具 <input type="checkbox"/> 消毒用品 <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> おしりふき など
	<b>高齢者</b>
	<input type="checkbox"/> 入れ歯 <input type="checkbox"/> 介護食 <input type="checkbox"/> 大人用紙おむつ など
	<b>疾患のある方</b>
	<input type="checkbox"/> 主治医の連絡先 <input type="checkbox"/> 持病薬メモ (処方箋等) <input type="checkbox"/> 持病の薬 など
	<b>ペット</b>
	<input type="checkbox"/> 動物病院連絡先 <input type="checkbox"/> リード <input type="checkbox"/> ケージ <input type="checkbox"/> ペット用食品 <input type="checkbox"/> 排泄用品 など

# トイレの清掃当番がやること

## 装備

マスク、フェイスシールド、手袋（清掃用）、前掛けなど（使い捨てできるものを利用）

## 掃除 道具

ぞうきん、バケツ、洗剤、ビニル袋、ゴミ袋、新聞紙などのいらぬ紙  
消毒液（水1Lに台所用塩素系漂白剤24ml（キャップ1杯）を混ぜる）など

### ① 入口のドアや窓を開けて、換気する

### ② 汚物をとる

- ・ 汚物は新聞紙などで包んで取り、ビニル袋に入れる。
- ・ 汚物を入れたビニル袋に消毒液を入れて密封し、ゴミ袋に入れる。
- ・ 排泄物で汚染された部位の表面には消毒液を使用する。

### ③ 高いところから順番に、拭き掃除をする

### ④ 床掃除をする

- ・ トイレの床は新型コロナウイルスが検出されやすいため、注意が必要。

### ⑤ 個室や便器の掃除をする

- ・ 消毒液で濡らしたぞうきんなどで、汚れの少ない場所から順に拭く。  
（例：便座→ふた→タンク→便器の外側）
- ・ 詰まり以外の原因で流れていない汚物があればバケツなどの水で流す。（例：和式では2～3Lの水を上から勢いよく流し込む。）
- ・ 水が流れる場合は塩素系洗剤を便器内にかけて、数分後に水で流す。

### ⑥ 人の手が触れる部分の掃除する

- ・ ドアノブ、手すり、水洗レバーなど人の手が触れる部分を、これまでの手順で使用していない消毒液で濡らしたぞうきんなどでこまめに拭く。
- ・ 手洗い場の水アカなどをふき取る。

### ⑦ 消耗品の補充・設置

- ・ 掃除用の手袋を外側が内側になるように外し、ゴミ袋に入れる。
- ・ トイレトーパー、消臭剤、手洗い用の消毒液などを補充・設置する。

## 後片付け

- ① マスク、手袋、前掛けなど着用していたものをごみ袋に入れ、トイレから出たごみと同じ場所に置く。
- ② 泥落としマットなどで靴の汚れを落とし、消毒液をしみこませたマットで靴の裏を消毒する。
- ③ 石けんで1分間、よく手を洗う。（指先、指の間、親指のまわり、手首などを念入りに！）水がない場合は手指消毒用アルコールを使う。
- ④ うがいをする。

## トイレから出たごみの処理

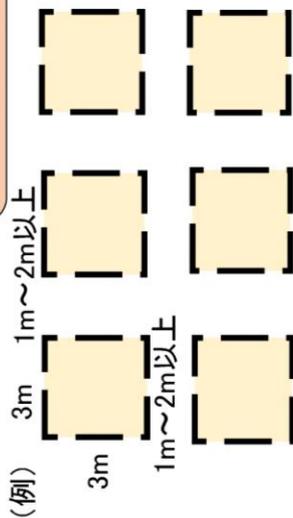
衛生・安全のため、袋を二重にして持ち運び、他のごみと混ざらないように注意する。（トイレ用のごみ置き場は予め決め、わかるようにしておく。）



## 健康な人の避難所滞在スペースのレイアウト（例）

- 体育館のような広い空間において、健康な人が滞在するスペースとしては、以下のような方法が考えられる。感染対策やプライバシー保護の観点からは、パーティションやテントを用いることが望ましい。
- 感染リスクの高い高齢者・基礎疾患を有する人・障がい者・妊産婦等が滞在する場合には、避難所内に専用スペースを設けることが望ましいが、体育館内に専用ゾーンを設け、以下と同様の考え方で利用することも考えられる。

### テーブル等による区画表示



- 一家族が一区画を使用し、人数に応じて区画の広さは調整する
- 家族間の距離を1m以上あげる

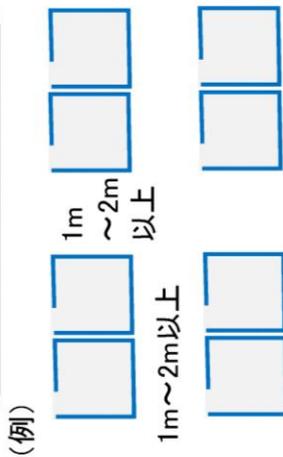
※スペース内通路は出来る限り通行者がすれ違わないように配慮する必要がある

### パーティションを利用した場合

- 飛沫感染を防ぐため、少なくとも座位で口元より高いパーティションとし、プライバシーを確保する高さにするのが望ましい。また、換気を考慮しつつ、より高いものが望ましい。



### テントを利用した場合



- テントを利用する場合は、飛沫感染を防ぐために屋根がある方が望ましいが、熱中症対策が必要な際には、取り外す。



※ 人と人の間隔は、できるだけ2m(最低1m)空けることを意識して過ごしていただくことが望ましい。

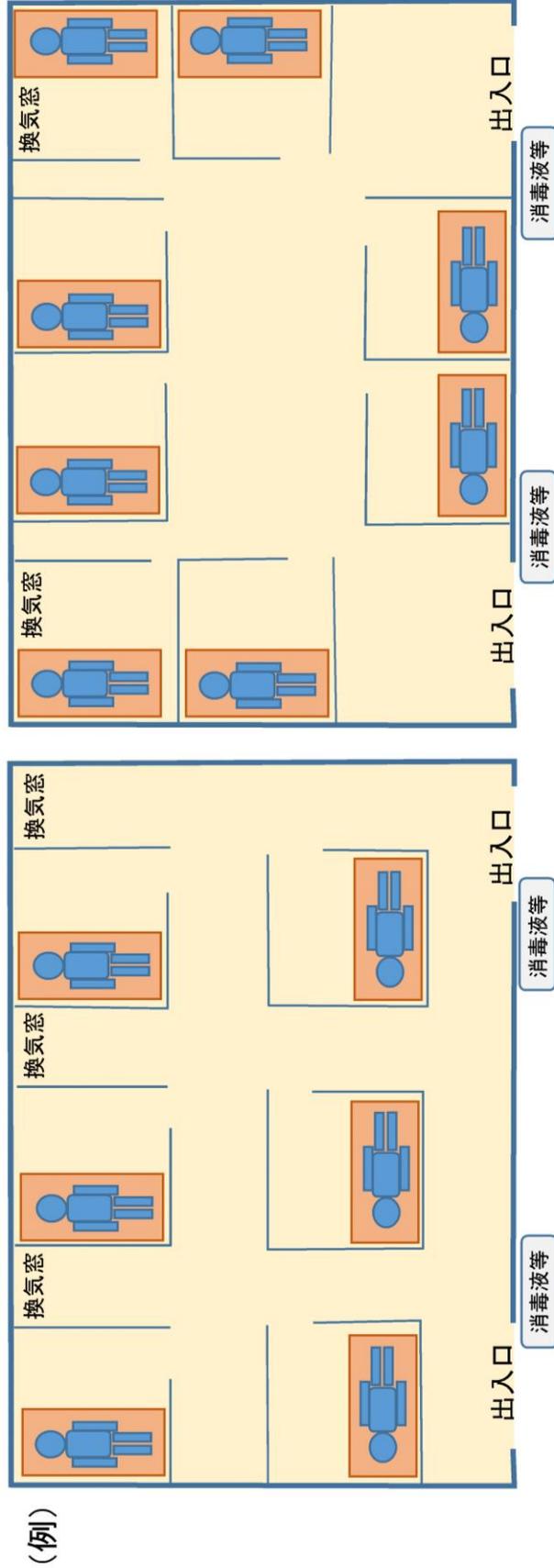
※ 避難所では、基本的にマスクを着用することが望ましい。特に、人と人との距離が1mとなる区域に入る人はマスクを着用する。

※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

# 発熱・咳等のある人や濃厚接触者専用室のレイアウト（例）

R2.6.10  
第2版

- 発熱・咳等のある人及び濃厚接触者は、それぞれ一般の避難者とはゾーン、動線を分けること。
- 発熱・咳等のある人は、可能な限り個室にすることが望ましいが、難しい場合は専用のスペースを確保する。やむを得ず同室にする場合は、パーティションで区切ることとする。
- 濃厚接触者は、可能な限り個室管理とする。難しい場合は専用のスペースを確保する。やむを得ず同室にする場合は、パーティションで区切るなどの工夫をする。  
※濃厚接触者は、発熱・咳等のある人より優先して個室管理とする。
- 人権に配慮して「感染者を排除するのではなく、感染対策上の対応であること」を十分に周知する。



※ 飛沫感染を防ぐため、少なくとも座位で口元より高いパーティションとし、プライバシーを確保する高さにすることが望ましい。また、換気を考慮しつつ、より高いものが望ましい。

- ・ 軽症者等は、予め災害時の対応・避難方法等を決めておくことが望ましいが、避難所に一時的に滞在する場合がある。
- ・ 感染予防および医療・保健活動のしやすさの観点から、地域における感染拡大状況や、各避難所、活用するホテル・旅館等の状況を踏まえ、防災担当部局や保健福祉部局等の連携のもと、必要に応じて特定の避難者の専用の避難所を設定することも考えられる。  
(例：高齢者・基礎疾患を有する者・障がい者・妊産婦用、発熱・咳等の症状のある者用、濃厚接触者用)

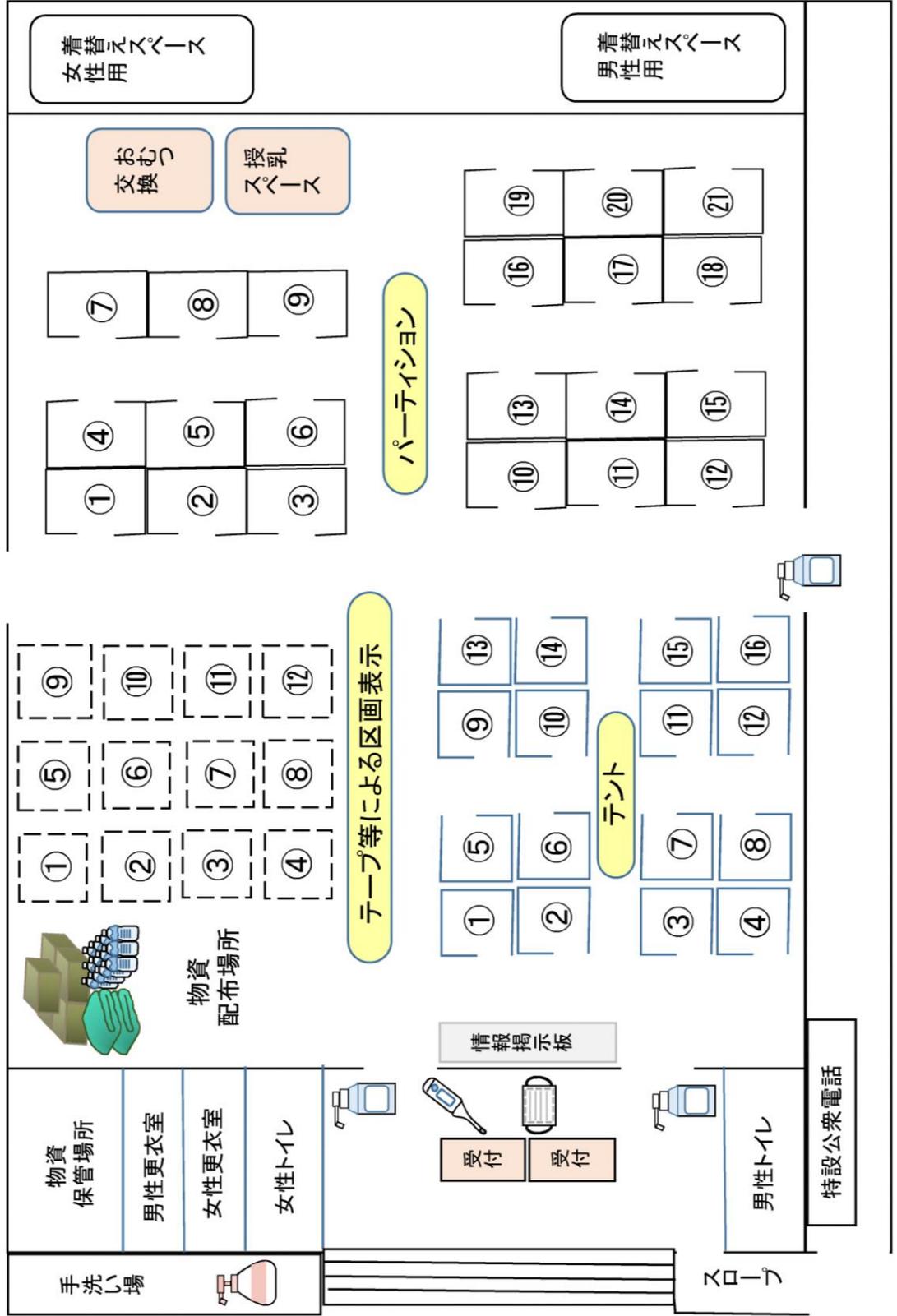
※ 発熱・咳等のある人及び濃厚接触者は、マスクを着用する。

※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

# 健康な人の避難所滞在スペースのレイアウト（例）

R2.6.10  
第2版

- テープ等による区画表示やパーティション、テントを利用する場合は、番号等を付し、誰がどの番号等の区画等に滞在しているか分かるように管理する。



# 平時の準備と早めの避難

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則ですが、避難所には多くの避難者が集まり、感染症の発症リスクが高まります。

自分の身は自分で守る「自助」の備えを行うとともに、避難が必要と判断される場合は、早めの避難を心掛けましょう。

## 次の準備をしましょう

- ① 自宅の災害の危険性や避難行動について確認しておきましょう（洪水ハザードマップや防災対策マップを活用）。水害時は、自宅の2階への避難（垂直避難）も有効です。
- ② 自宅で安全が確保できる場合の在宅避難に備え、水、食料、生活必需品や常備薬等の1週間程度の備蓄をしましょう。自宅の耐震診断・耐震補強、家具・家電の転倒・落下防止、火災の備え（電気・ガス・石油機器等の出火防止対策）をしましょう。  
在宅避難時に、支援が必要な場合は、お近くの避難所か市災害対策本部（日進市役所 0561-73-7111）へ連絡してください。
- ③ 安全な親戚・知人宅等、避難所以外の避難の検討もしましょう
- ④ 避難所へ避難する場合は、市の備蓄品に無いものや数に限りもあることから、水、食料、日用品に加え、感染症対策となるマスク、体温計、石鹸、消毒液、スリッパ、着替え、ゴミ袋等も用意しましょう。
- ⑤ 普段から体温を測るなど健康チェックをしましょう。  
避難所へ避難する場合は、避難所での受付の混雑や滞留を防止するため、事前に記入した「避難所利用登録票」、「受付時健康状態チェックリスト」を持参し、事前受付での健康チェックを受けましょう。避難所での手洗い、咳エチケット等の基本的な対策を徹底し、できる限り2m間隔の確保をしましょう。

日進市

# 新型コロナウイルス感染症対策 へのご協力のお願い

## ほかの人につさないために

- 隣の人とは、2メートル以上離れて過ごしましょう
- 常にマスクを着用しましょう
- 気温が高い場合は、こまめに水分補給しましょう
- ドアノブ等の共有部分に触れた後は、手洗い、消毒を徹底しましょう
- 毎日、体温・体調チェックをしましょう
  - 朝、昼、夕3回実施
  - 発熱や体調が良くないときは、運営本部へ報告してください
- 居住スペース以外で食事をとらないようにしましょう
- トイレにふたがある場合、トイレのふたを閉めて流しましょう
- 靴はビニール袋に入れて各自で保管しましょう

## 避難所運営上の協力のお願い

- 定期的に換気をしましょう
  - 30分に1回以上、数分間、窓を全開
- ドアノブ等の共有部分の消毒、トイレ等の清掃は毎日、こまめに実施しましょう
- 物品や食事の提供時は、手渡しを避けましょう
- ごみは各家庭で、ごみ袋の口を縛って捨てましょう



## 「避難所における新型コロナウイルス感染症等の対応方針」

令和2年7月改訂

日進市生活安全部防災交通課

〒470-0192

愛知県日進市蟹甲町池下268番地

TEL 0561-73-3279

FAX 0561-74-0258

E-mail [bousai@city.nisshin.lg.jp](mailto:bousai@city.nisshin.lg.jp)

【日進市 HP(防災・消防)アドレス】

<http://www.city.nisshin.lg.jp/department/seikatu/bousai/5/2/2>